



2023年11月9日

各位

会社名 ニプロ株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐野 嘉彦
(コード番号：8086 東証プライム)
問合せ先 専務取締役管理統括
経営企画本部長 余語 岳仁
(TEL 06-6310-6804)

第2四半期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2023年8月9日公表の2024年3月期第2四半期(累計)連結業績予想値と本日公表の実績値との間に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、第2四半期連結累計期間における実績と最近の業績等の動向を踏まえ、2023年8月9日公表の2024年3月期通期業績予想については一部前提条件を修正いたしました。業績予想に関しましては、2023年8月9日公表の業績予想の通りといたします。

記

1. 2024年3月期第2四半期累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)業績予想値と実績値の差異
(単位 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	294,392	11,416	9,464	5,426	33円27銭
第2四半期累計期間実績(B)	285,865	13,488	14,736	9,931	60円89銭
増減額(B-A)	▲8,527	2,072	5,272	4,505	—
増減率(%)	▲2.9	18.1	55.7	83.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	260,339	6,371	11,604	6,252	38円34銭

2. 差異の理由

2024年3月期第2四半期連結累計期間は、想定為替レートと比較し円安で推移しました。それにより、海外の売上高は増加しましたが、医療関連事業の国内売上高ならびに医薬関連事業の売上高は、業績予想を下回る結果となりました。前者は、新型コロナウイルス感染症の影響の緩和による一部製品の受注減少および競合他社の新製品上市によるシェアの侵食に起因するものです。また、後者は、予想を超える価格転嫁の遅滞および販売終了品の増加による生産高の減少に起因するものです。なお、ファーマパッケージング事業は計画通りに進捗しておりますが、今後は顧客の在庫調整が予想され、厳しい状況が続く見込みです。これら事由により、売上高は業績予想に対し85億27百万円下回る結果となりました。

一方、インフレーションによる原価上昇の影響を受けたもののその影響は想定を下回り、医療関連事業においては製品への価格転嫁も一定程度進捗いたしました。加えて、エネルギー価格上昇に関する助成金等もあり、製造原価へのインフレや円安の影響は限定的となりました。さらに海上運賃高騰の沈静化による運送費の減少もあり、営業利益は業績予想に対し20億72百万円増加しました。

経常利益は、為替差益を 36 億 4 百万円計上したことにより、営業利益の増加と合わせて業績予想を上回り、予想との差は 52 億 72 百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券の売却益を特別利益に、また中国の子会社の売却損失を特別損失に計上しました。そのため特別損益は業績予想を大きく上回りましたが、税金等調整前利益の増加に伴う法人税等の増加および中国合弁子会社の合弁解消に伴う非支配株主持分損益の増加により、親会社株主に帰属する四半期純利益の差額は、経常利益の増加分をやや下回る 45 億 5 百万円となりました。

なお、第 2 四半期連結累計期間の実績値は予想を大きく上回りましたが、今後の経済状況、為替の状況等が先行き不透明なため、現時点では通期業績予想を修正いたしません。

昨今の経済状況や為替相場の変動を考慮し、下期の想定為替レートを 1 ドル 125 円から 140 円、1 ユーロ 133 円から 151 円と円安方向に修正いたしました。円安による押し上げ効果で、通期としては第 2 四半期連結累計期間予想を下回った分を補うことができる見込みです。本修正は現状の実勢レートから一定範囲円高方向への推移を見込んだものであり、その他の通貨についても同様の理論で修正を行っております。

また、営業利益については、引き続き生産コストの上昇を抑え、価格転嫁の交渉を進めるなどして利益確保に努めてまいります。大館 第 7 工場の稼働をはじめ、新規プロジェクトに伴う新設備の稼働開始が予定されていることから、それに伴う減価償却費の増加や、顧客の在庫調整による受注の減少が予想されます。そのため、見通しが立つまで一旦予想を据え置きます。

経常利益も為替差益が主な要因であるため、見通しが明確になるまで予想を据え置きます。

親会社株主に帰属する当期純利益も、現在の不透明な状況を考慮して一旦予想を据え置き、今後、情勢をふまえて必要であれば通期予想の修正を公表する予定です。

これら業績予想の据え置きにより、配当予想についても現時点では修正を行わず、為替損益などの不確定要素にある程度の見通しが立った段階で、必要に応じて速やかに業績予想とともに修正いたします。

以 上